

進めています！自己改革



今、私たちは、「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の3つの目標を掲げ、佐賀農業・地域を支える大きな役割を果たす組織として自己改革を進めています。

自己改革について十分な結果が残せるように、私たちは、その具体策を3カ年計画や各事業年度の計画をたて、組合員の皆さんの声を聴き、真剣に議論して確かな方向性を見出す協同組合としての自己改革を進めていきます。

JAからつが取り組んでいる自己改革の一部を紹介します

営農生産部

果樹新品種生産推進

中晩柑

「佐賀果試35号」令和4年度結果樹面積80aを目標に推進計画（県指定の苗木のみでの生産、高接不可）

※注意：佐賀県庁への生産申請が必要で無申請生産は違法（種苗法：違反者個人は1,000万円、法人は3億円）



いちご

「いちごさん」令和2年度80%から令和4年度栽培面積100%を目標

※注意：苗の販売は違法となります。（左記種苗法に準じる）



さが園芸生産888億円推進運動（JAからつ333億円推進運動）

令和元年度から佐賀県の園芸生産888億円を目標として、全生産者を対象としたアンケート調査を行い、現在集計を行っております。その結果を踏まえ令和2年度に全生産部会による目標必達に向けた振興大会を行います。今後、唐津・玄海地区の農業が「活気ある農業生産」に向け邁進していきます。

